



## 令和8年!! 今年もよろしくお願ひいたします

2026年の新しい年が始まりました。

今年の干支は丙午(ひのえうま)。午年は、颯爽と駆け抜ける馬のように、物ごとが勢いよく進展し、成功や飛躍につながる年とも言われています。また、馬の蹄を守る蹄鉄は、特にヨーロッパでは幸せを呼ぶラッキーアイテムとしても親しまれています。今年も、子どもたち一人一人に多くの幸が訪れる一年になってほしいと願っています。

俵 万智さんの短歌、

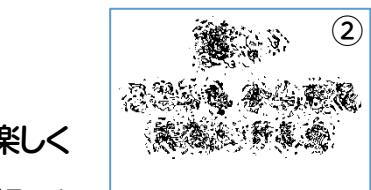
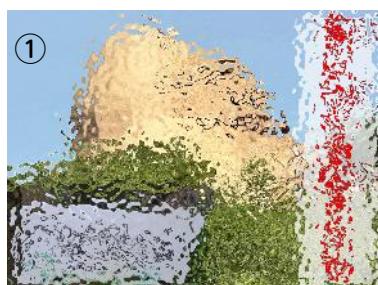
まだ何も書かれていない予定表 なんでも書ける これから書ける

(『あとがきはまだ 俵万智選歌集』短歌研究社 2024年刊)

は、新しい年の始まりにぴったりの言葉です。新調したスケジュール帳を開くと、まっさらページが広がります。これから書き込んでいく未来を思うと、無限の可能性を感じられ、自然と前向きな気持ちになります。

新しい年は、子どもたちにとっても、まっさらなノートのようなものです。どんな学びを重ね、どんな笑顔を刻んでいくのか、とても楽しみです。失敗を恐れず、挑戦する気持ちを大切にしながら、のびのびと一年を過ごしていってほしいと思います。うまくいかないことがあっても、それは次の一步につながる大切な経験です。

始業式はオンラインで行いました。右のようなスライドを見せながら、ことわざ「笑う門には福来る」を紹介し、次のような話をしました。

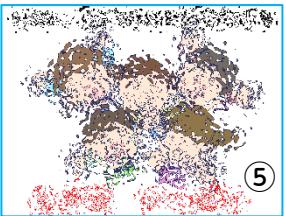
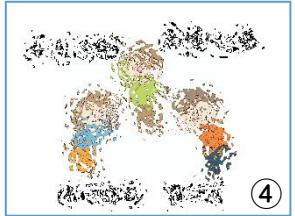


『つまらない』と思えば心はつまらなくなるし『楽しい』と思えば、楽しくなってくることがあります。困っている人を助けると、その人は笑顔になり、「ありがとう」と言われれば、自分も笑顔になります。

小さな楽しみや喜びを見つけ、みんなと分け合うことが笑顔につながり

※①～⑥はオンライン始業式で見せたスライドの一部です。

ます。新しい年の始まりに、自分や友達、周りの人を笑顔にするにはどうしたらいいのか、考えてみてください。そして、実行してみましょう。』

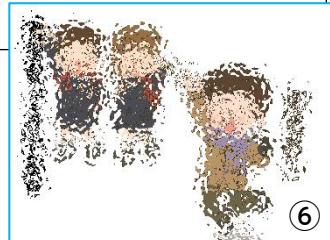


今年も、子どもたちが「なんでも書ける」一年になるよう、学校と家庭、地域が力を合わせて支えていきたいと思います。そして、笑顔と希望に満ちた一年を皆様と共にやっていきましょう。本年はどうぞよろしくお願ひいたします。

表の写真のにこにこ岩は岡山県王子が岳にある巨岩です。まるで笑っているように見えるところから、いつしかそう呼ばれるようになりました。王子が岳は標高 234mの低山。頂上の展望台まで車でも行くことができ、そこから徒歩で少し下ればにこにこ岩をはじめとする花崗岩の巨岩、奇岩が点在し、瀬戸内海を望む絶景が楽しめる人気の観光スポットです。

反対側の海岸沿いにある登山口からの登山道は、ほぼ海拔0mからおよそ 150mを一気に登る急坂ルートで、低山とはいえ決して楽ではありません。しかし、頂上に到達する少し手前までくると、にこにこ岩が待ってくれています。にこにこ顔を見ると、それまでの疲れが吹き飛んで、元気が湧いてくるから不思議です。

7日の朝は、日の出のころは氷点下1度。登校時間帯でも非常に寒い朝でした。それでも、元気に登校する子どもたちの姿を見ることができました。半袖、半ズボンの男の子もいました。たとえ寒い朝でも、にこにこした笑顔を見るこちらも元気になるものです。



1年生は、登校後の身支度を済ませると、さっそく、チューリップの球根の水やりをしていました。霜が降りた芝生の運動場には、朝休みにサッカーなどを楽しんだ子どもたちの足跡が残っていました。その様子を見た子どもが、白い運動場をすべて、スケートしてるみたいと表現していました。

## 始業式後の各クラスの様子

長期のお休みのあとは、お互い顔を合わせることがなかった間の過ごし方について互いに共有、共感することで、「久しぶりに会えてよかったです」という気持ちが芽生えています。また、どんな3学期にした



いのかをそういう仲間と語り合い確認し合うことが、とても大切です。始業式後の教室では、冬休みの思い出をスピーチやサイコロトーク、冬休みエピソードクイズ(略して冬エピクイズ)で交流したり、3学期の係や活動計画、めあてを決めたりする様子が見られました。

→ すがろくをしているクラスもありました。止まったマスには、サンタさんに何もらった？おもちは何個食べた？どこかへ行った？などの質問が。